

第5回 矢作川水系流域委員会の開催

矢作川水系河川整備計画策定後、社会情勢の変化や地域の意向、河川整備の進捗状況や進捗の見通し等を適切に反映できるよう整備計画の点検を目的として、河川に関する学識経験を有する委員を集めて「矢作川水系流域委員会」を適宜開催しています。

今回「第5回 矢作川水系流域委員会」を開催し、最近の河川事業を取り巻く話題、矢作川水系河川整備計画の進捗状況（洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項）についての報告に対して、意見を頂きました。

【開催概要】

日時：令和5年1月17日（火） 10:00 - 12:00
会場：TKP ガーデンシティPREMIUM 名古屋駅前ホールA

【主な議事】

- ・最近の河川事業を取り巻く話題
- ・矢作川水系河川整備計画の進捗状況
(洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項)

【主な意見】

- ・明治用水頭首工被災を教訓として、許可工作物の適切な維持管理に関して、各施設の管理者と十分に連携をとって進めてほしい。
- ・利水ダムの事前放流の実績と合わせ、どの程度の効果が発揮されたかという点も示してほしい。
- ・カーボンニュートラルにおけるダム運用の高度化に際しては、濁水の長期化に繋がらないよう注意が必要である。
- ・樹木伐開について、どの河川でも再繁茂は課題であるが河川の特性を踏まえ工夫して進めてほしい。
- ・樹木伐開や低水護岸等の整備を行う際には、それぞれの場における河川環境に対する目標を設定し、治水とのバランスを踏まえ適切に進めてほしい。
- ・洪水ハザードマップの特性や使い方等を適切に伝えていくため、他の災害ハザードマップとの違いや連携に着目した取組を検討してほしい。
- ・伐開樹木を有効活用することにより、カーボンニュートラルの実現に貢献することができる。引き続き、再利用について検討を進めてほしい。



辻本 哲郎 委員長



内田 臣一 委員



大野 栄治 委員



溝田 大助 委員



戸田 祐嗣 委員



久保 正明 委員



小池 則満 委員



小野田 幸生 委員



松本 嘉孝 委員



小野 悠 委員



矢作ダム管理所 所長



豊橋河川事務所 所長